

地場企業の経営動向調査

(平成20年度 第2・四半期)

平成20年10月 27日

 福岡商工会議所

事業推進部 経済振興グループ

TEL 092-441-1118

調査目的

福岡市内地場企業（一部福岡市近郊を含む）の景況及び経営動向を把握すると同時に、これらの情報を企業へ提供し、企業経営の参考に資するものである。

調査対象

当所会員企業を対象とし1,500社を任意抽出したもので、対象企業の内訳は中小企業 1,425社（構成比率95.0%）、大企業75社（構成比率5.0%）により構成されている。

回答した企業数は640社、回答率42.7%となっており、回答企業の内訳は、中小企業601社（構成比率93.9%）、大企業39社（構成比率6.1%）となっている。

中小企業の範囲は中小企業基本法の定義に基づく。

調査要領

四半期毎にアンケート用紙を郵送、前年同期比の回答を求めるもので、今回は平成20年7～9月期の実績、及び平成20年10～12月期の予想について、平成20年9月末時点で調査した。

調査内容

DI値を集計（DI=「良いとする回答割合」-「悪いとする回答割合」）

DI・・・Diffusion Index（景気動向指数）の略

景気・経営動向調査

1. 自社・業界の景況
2. 生産額、売上額、完成工事高
3. 原材料・製（商）品仕入価格
4. 受注価格、販売価格
5. 製（商）品在庫
6. 営業利益
7. 売掛期間
8. 資金繰り
9. 100万円以上の新規借入

平成20年度 第2・四半期

調査対象企業数及び回収結果

規模別	対象数	回答数	回答率	回答結果の構成比
全業種	1,500	640	42.7%	
中小企業	1,425	601	42.2%	93.9%
大企業	75	39	52.0%	6.1%

業種別	対象数	回答数	回答率	回答結果の構成比
全業種	1,500	640	42.7%	
建設業	314	152	48.4%	23.8%
土木建設業	114	54	47.4%	8.4%
建設付帯工事業	79	43	54.4%	6.7%
電気・管工事業	121	55	45.5%	8.6%
製造業	221	102	46.2%	15.9%
食料品製造業	46	24	52.2%	3.8%
繊維製品製造業	13	6	46.2%	0.9%
建材・木・紙製品製造業	7	4	57.1%	0.6%
印刷・製本業	44	17	38.6%	2.7%
窯業・土石製品製造業	8	3	37.5%	2.0%
金属製品製造業	23	14	60.9%	2.2%
一般機械器具製造業	20	9	45.0%	1.4%
電気機械器具製造業	24	17	70.8%	2.7%
その他製造業	36	8	22.2%	1.3%
卸売業	333	148	44.4%	23.1%
食料品卸売業	63	20	31.7%	3.1%
繊維製品卸売業	65	25	38.5%	3.9%
建材・住宅機器卸売業	60	27	45.0%	4.2%
紙・文具・事務機卸売業	6	3	50.0%	0.5%
金属・鋼材卸売業	2	1	50.0%	0.2%
一般機械器具卸売業	32	16	50.0%	2.5%
電気機械器具卸売業	13	8	61.5%	1.3%
石油・化学製品卸売業	12	7	58.3%	1.1%
ゴム・皮革製品卸売業	2	1	50.0%	0.2%
その他卸売業	78	40	51.3%	6.3%
小売業	210	67	31.9%	10.5%
食料品小売業	44	11	25.0%	1.7%
衣料品・身の回り品卸売業	45	14	31.1%	2.2%
石油・化学製品小売業	25	5	20.0%	0.8%
車両運搬具小売業	14	7	50.0%	1.1%
家電・厨房器具小売業	10	8	80.0%	1.3%
百貨店・セルフ店	11	4	36.4%	0.6%
その他小売業	61	18	29.5%	2.8%
運輸・倉庫業	62	30	48.4%	4.7%
旅客運送業	16	11	68.8%	1.7%
貨物運送・倉庫業	46	19	41.3%	3.0%
サービス業	360	141	39.2%	22.0%
情報処理サービス業	51	23	45.1%	3.6%
その他事務所サービス業	216	78	36.1%	12.2%
ホテル・旅館・飲食業	55	21	38.2%	3.3%
その他の個人サービス業	38	19	50.0%	3.0%

「 福商・経営動向調査 」 調査結果

景況概況 (DI 値の動き)

1. 自社業況は、今期 46.9 となり、前期との比較ではマイナス 1.7 ポイントと 7 期連続での悪化となった。
業種別に対前期比をみると、全産業中、卸売業がプラス 13.2 ポイント(前期 DI 48.3)、運輸・倉庫業プラス 2.1 ポイント(同 62.1)、建設業プラス 1.7 ポイント(同 60.9)といずれも 2 期ぶりに改善したものの、小売業がマイナス 16.2 ポイント(前期 DI 44.9)、サービス業マイナス 15.8 ポイント(同 23.9)、製造業マイナス 0.6 ポイント(同 41.5)の悪化となった。
業種別においては、全産業中、卸売業、運輸・倉庫業、建設業の 3 業種で改善がみられたものの、小売業、サービス業、製造業の 3 業種で悪化するなど、業種間でのバラツキがみられた。その中でも特に、生産額、売上高、完成工事高 DI 値など四項目の DI 値に改善がみられた卸売業では、4 期ぶりに改善となった。
次四半期(H20年10~12月)の全業種予測 DI 値は 44.2(今期比プラス 2.7 ポイント)となっており、改善が予測されている。
2. 業界の景気動向は、今期 71.8 と前期との比較ではマイナス 3.9 ポイントと 7 期連続して悪化した。
次四半期については 63.8 とプラス 8.0 ポイントの改善が予測されている。
3. 生産額、売上高、完成工事高は、今期 36.1 と前期との比較ではマイナス 8.1 ポイントとなり、5 期連続して悪化した。
次四半期については 38.2 とマイナス 2.1 ポイントの悪化が予測されている。
4. 原材料、製(商)品仕入価格は、今期 64.9 と前期との比較ではプラス 1.1 ポイントで 6 期連続の上昇となった。
次四半期については 50.5 とマイナス 14.4 ポイントの下落予測となっている。
5. 受注価格、販売価格は、今期 16.1 と前期との比較ではマイナス 4.5 ポイントの悪化となっている。
次四半期については 15.9 とプラス 0.2 ポイントの改善が予測されている。
6. 営業利益は、今期 48.7 と前期との比較ではプラス 0.4 ポイントの改善となっている。
次四半期については 43.4 とプラス 5.3 ポイントの改善が予測されている。
7. 売上増加の理由は、「受注、需要の増加」58.8%、「得意先開拓・客数の増加」41.3%に集中している。
一方で減少した理由としては、「受注、需要の減少」82.3%、「客単価の低下」38.9%、「得意先開拓・客数の減少」32.2%の順となっている。

8. 当面の経営上の問題点としては、「受注、販売競争の激化」58.8%、「売上高、生産額、工事高の伸び悩み」58.1%、「営業利益の低下」51.6%、「原材料高、入手難」35.6%、「販売価格への転嫁難」31.7%、「経費の増加」31.3%の6項目へ指摘が集中している。

業種別では、建設業の「官公需要の停滞」44.1%、運輸・倉庫業の「人材難、求人難、定着性の悪化」30.0%が挙げられ、いずれも3割を超す指摘となっている。

参考指標

日経平均株価	11,259.86 円	(平成 20 年 9 月 30 日 終値)
対米ドル円相場終値	104.57 円	(平成 20 年 9 月 30 日 18 時 40 分時点)
対ユーロ円相場終値	150.55 円	(平成 20 年 9 月 30 日 18 時 40 分時点)
原油価格 (WTI)	US\$ 100.64/バレル	(平成 20 年 9 月 30 日 終値)

景気判断

10月の月例経済報告（内閣府）では景気の基調判断を「景気は弱まっている。」とし、また、企業の業況判断についても「悪化している。」とし、2カ月ぶりに下方修正をおこなった。

併せて「企業収益は、減少している。設備投資は、弱含んでいる。雇用情勢は、悪化しつつある。個人消費は、おおむね横ばいとなっているが、足下で弱い動きもみられる。輸出は、緩やかに減少している。生産は、減少している。先行きについては、当面、世界経済が減速するなかで、下向きの動きが続くとみられる。加えて、アメリカ・欧州における金融危機の深刻化や景気の一層の下振れ懸念、株式・為替市場の大幅な変動などから、景気がさらに厳しいものとなるリスクが存在することに留意する必要がある。」としている。

当所の今四半期（平成20年7～9月）調査において、地場企業の自社業況判断指数（DI値＝前年同期と比較し「良くなった」とする回答割合から「悪くなった」とする回答割合を引いた数値）の全業種平均DI値は46.9で前期比マイナス1.7ポイントと7期連続での悪化となった。

【DI値の推移】

H17 第3 期	H17 第4 期	H18 第1 期	H18 第2 期	H18 第3 期	H18 第4 期	H19 第1 期	H19 第2 期	H19 第3 期	H19 第4 期	H20 第1 期	H20 第2 期
3.0	10.4	17.1	17.4	11.2	16.9	17.0	28.2	29.6	35.8	45.2	46.9

まとめ

今期の自社業況については、7期連続しての悪化となった。業種別においては、6業種中3業種で悪化がみられた。

次四半期の予測DI値は44.2となっており、8期ぶりの改善（今期比プラス2.7ポイント）が予測されている。

DI値は(平成3年度第2・四半期以来)69期連続でマイナス値となった。

全般的に「原材料、燃料費、労務費等全ての費用が軒並み値上りしている一方で販売価格の値上げは難しく、収益を圧迫する状況が続いている」「全体的な景気の低迷による競争激化の為、販売価格の低下を招き利益が減少している」といった声が目立っており、原材料、製（商）品仕入価格DIは6期連続して上昇している。

加えて、生産額、売上高、完成工事高DIが5期連続して減少し、

受注価格、販売価格は 2 期連続して悪化するなど、度重なる原材料・製(商)仕入価格等の上昇に対して、販売価格への転嫁が追いつかず、苦慮していることがうかがえる。

規模別において、大企業では、自社業況 DI 値が前期比プラス 10.2 ポイント(DI 値 28.2)と 2 期ぶりに改善がみられたものの、調査対象 9 割を占める中小企業の自社業況 DI 値は、前期比マイナス 2.4 ポイント(DI 値 48.1)と 5 期連続しての悪化となった。大企業の DI 値をみると、生産額、売上高、完成工事高 DI 値、また受注価格、販売価格 DI 値がいずれも 2 期ぶりに悪化し、製(商)品仕入価格 DI 値については、横ばいとなったにもかかわらず、営業利益 DI 値が 3 期ぶりに改善するなど、収益環境の改善が進んでいることがうかがえる。一方、中小企業の営業利益 DI 値は 4 期連続して悪化するなど、最終価格への転嫁力が弱い中小企業にとっては厳しい経営環境が続いている。

業種別においては、全産業中、卸売業、運輸・倉庫業、建設業の 3 業種で改善がみられたものの、小売業、サービス業、製造業の 3 業種で悪化するなど、業種間でのバラツキがみられた。その中でも特に、卸売業では、自社景況 DI 値が 4 期ぶりに改善となった(プラス 13.2 ポイント、DI 値 35.1)。その要因として、原材料、製(商)品仕入価格 DI 値が 6 期連続して上昇したものの、生産額、売上高、完成工事高 DI 値が 4 期ぶりに、受注価格、販売価格 DI 値、並びに営業利益 DI 値がいずれも 2 期ぶりに改善するなど、収益環境の改善がみられた。

回答企業の主なコメントより(抜粋)

- ・ ファンド撤退、デベロッパー倒産、建設会社倒産、工事がストップ、信用不安等、厳しい状況にある。(建設)
- ・ 穀物価格も現時点では低下傾向にあるものの、需要家は先安を見込んで最低の引取りをしている状況である。(製造)
- ・ 原材料高騰による仕入価格(材料・製品とも)が大きく値上りし、営業利益の確保は厳しい状況が続いている。(卸売)
- ・ 食品原材料の値上りが続き消費者の購買意欲が低下する中、大型店の販促競争が激化している。特に消費税の売価への転嫁が厳しい。(小売)
- ・ 燃料費高が収益を大きく圧迫し、また他所からの進出が脅威である。(運輸)
- ・ 航空運賃の高騰による海外旅行商品の値上りで購買意欲が著しく低下し、また海外から国内旅行へのシフト傾向にある。(サービス)

1. 自社・業界の景況

《自社景況は7期連続して悪化、次期予測は反転し改善へ》

今四半期（H20年7～9月）の地場企業の景況判断指数（DI値）は、全業種平均で「良くなった」と回答した企業割合は12.5%（前期比-0.5ポイント）、「悪くなった」と回答した企業割合は59.4%（前期比+1.2ポイント）、「横ばい」と回答した企業割合は27.5%（前期比-0.9ポイント）となった。

DI値は 46.9（前期DI 45.2）となり、前期比で-1.7ポイント悪化した。

業種別に対前期比でDI値を見ると、全産業中、卸売業が+13.2ポイント（前期DI 48.3）と4期ぶりに、運輸・倉庫業が+2.1ポイント（同 62.1）、建設業が+1.7（同 60.9）といずれも7期ぶりに改善したものの、小売業が-16.2ポイント（前期DI 44.9）、サービス業-15.8ポイント（同 23.9）、製造業-0.6ポイント（同 41.5）の悪化となった。

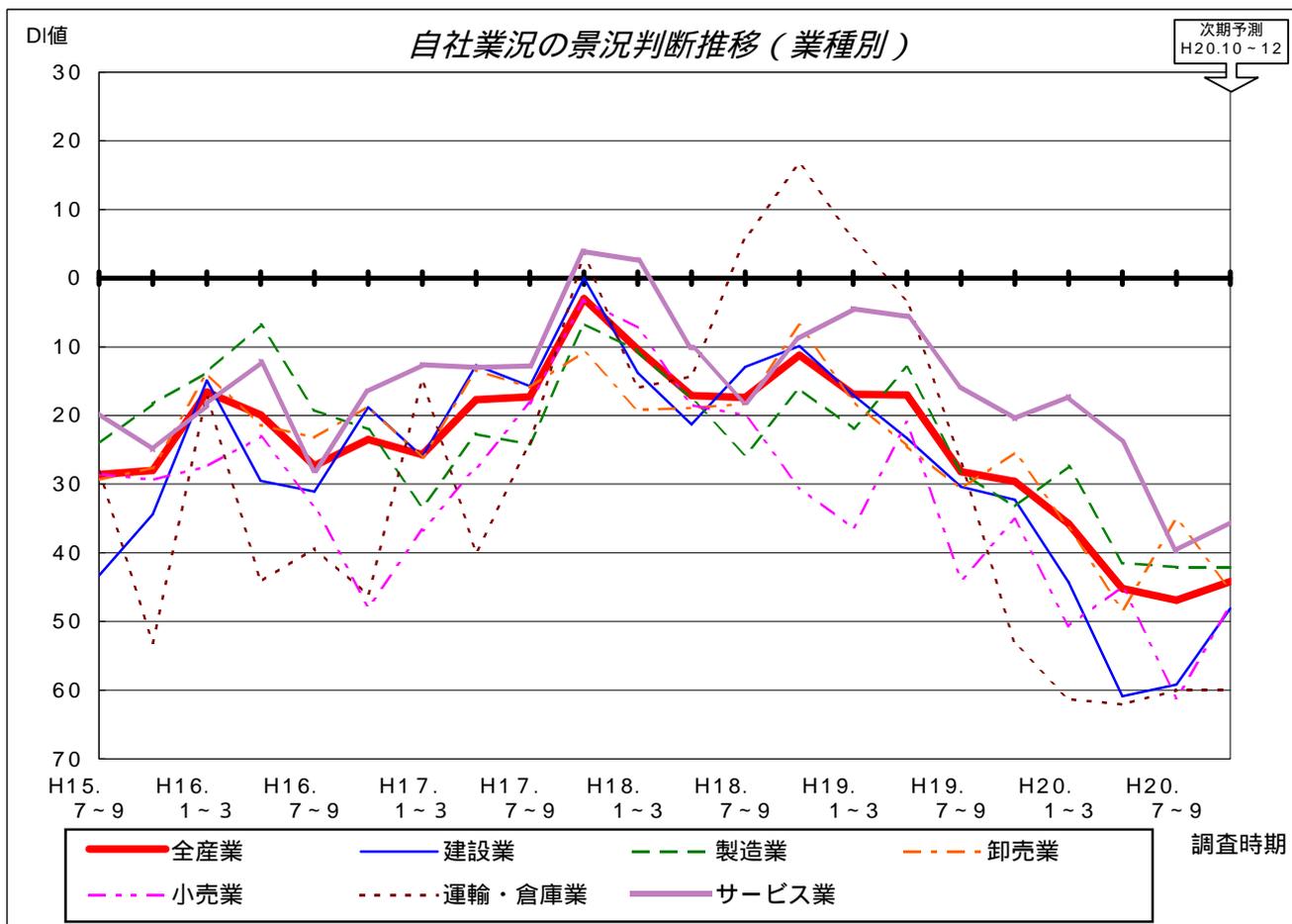
また、規模別のDI値を見ると、中小企業は前期比-2.4ポイント（前期DI 45.7）悪化し、大企業では+10.2ポイント（同 38.4）の改善となった。

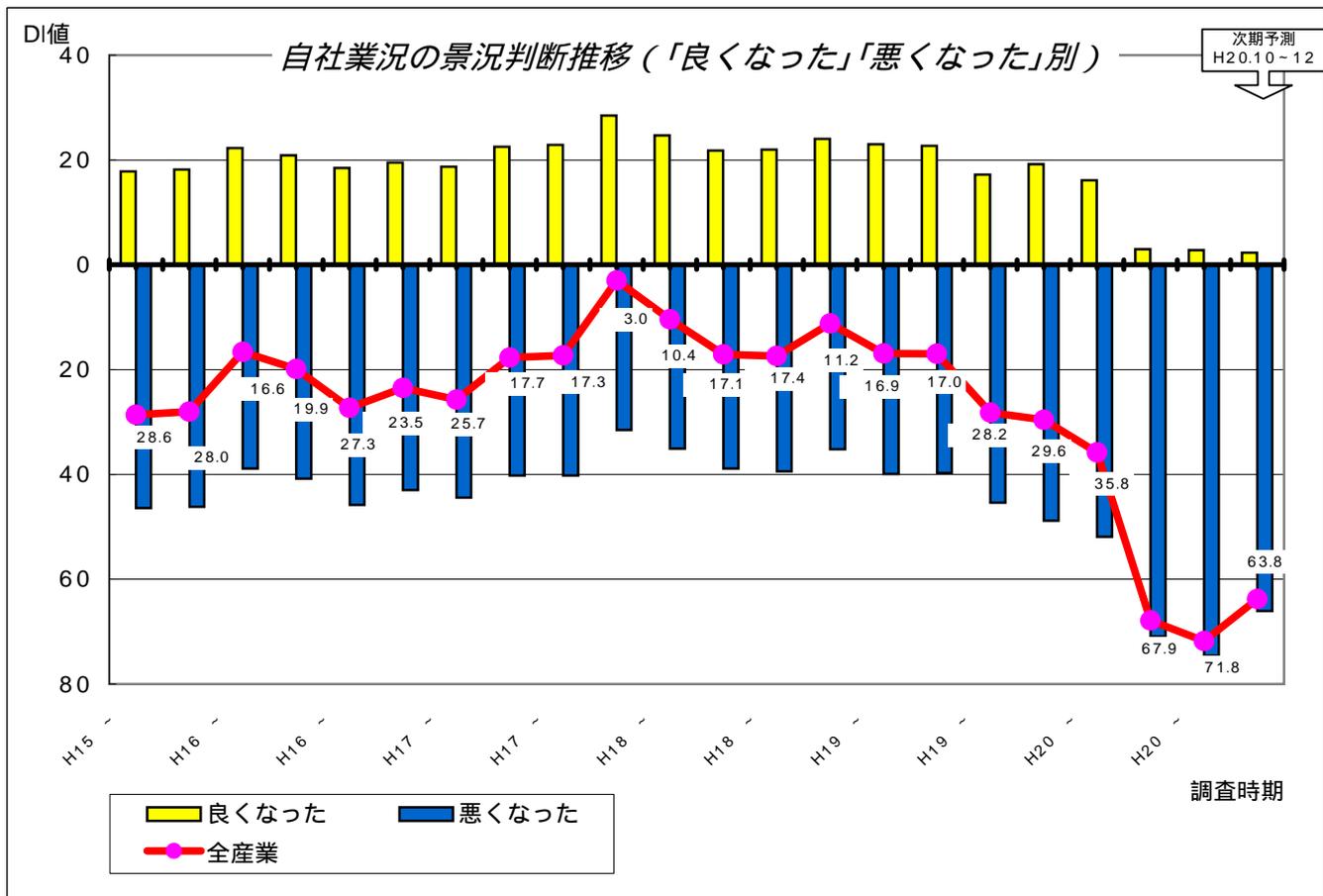
次四半期（H20年10～12月）の全業種予測DI値は 44.2（今期比+2.7ポイント）となっており、改善が見込まれている。

（自社業況の総合判断（前年同期と比較して））

（単位 %）

	今四半期(20年7～9月期)実績							次四半期(20年10～12月期)予測						
	非常に良くなった	やや良くなった	横ばい	やや悪くなった	非常に悪くなった	未記入	DI値	非常に良くなる	やや良くなる	横ばい	やや悪くなる	非常に悪くなる	未記入	DI値
全業種	0.2	12.3	27.5	41.4	18.0	0.6	46.9	0.0	9.4	33.8	41.1	12.5	3.3	44.2
建設業	0.0	7.9	24.3	47.4	19.7	0.7	59.2	0.0	7.2	32.2	39.5	15.8	5.3	48.1
製造業	1.0	14.7	25.5	38.2	19.6	1.0	42.1	0.0	10.8	31.4	43.1	9.8	4.9	42.1
卸売業	0.0	17.6	29.1	39.9	12.8	0.7	35.1	0.0	10.1	32.4	47.3	8.1	2.0	45.3
小売業	0.0	9.0	20.9	55.2	14.9	0.0	61.1	0.0	10.4	26.9	44.8	13.4	4.5	47.8
運輸・倉庫業	0.0	10.0	20.0	43.3	26.7	0.0	60.0	0.0	3.3	33.3	43.3	20.0	0.0	60.0
サービス業	0.0	12.1	35.5	31.9	19.9	0.7	39.7	0.0	10.6	41.8	32.6	13.5	1.4	35.5
中小企業	0.2	12.1	26.6	41.9	18.5	0.7	48.1	0.0	9.5	33.4	40.8	12.8	3.5	44.1
大企業	0.0	15.4	41.0	33.3	10.3	0.0	28.2	0.0	7.7	38.5	46.2	7.7	0.0	46.2





業界の景況

《業界景況は7期連続して悪化、次期予測は反転し改善へ》

地場企業から見た自社の属する業界の景況判断指数（DI値）は、全業種平均で「良くなった」と回答した企業割合が2.8%、「悪くなった」と回答した企業割合が74.6%、「横ばい」と回答した企業割合が21.3%となっており、DI値は71.8（前期DI 67.9）と前期比で-3.9ポイント悪化している。

業種別に対前期比でDI値を見ると、卸売業が+4.2ポイント（前期DI 74.4）、製造業+0.2ポイント（同68.9）の改善がみられたものの、サービス業が-11.6ポイント（前期DI 50.8）、建設業-8.2ポイント（同74.7）、運輸・倉庫業-7.9ポイント（同62.1）、小売業-0.7ポイント（同73.9）の悪化となった。規模別のDI値を見ると、中小企業は前期比-4.2ポイント（前期DI 68.1）悪化し、大企業では前期比+5.0ポイント（同66.6）の改善となった。

次四半期予測DI値は63.8と今期比+8.0ポイントの改善が予測されている。

（業界の景気動向（前年同期と比較して））

（単位 %）

	今四半期（20年7～9月期）実績							次四半期（20年10～12月期）予測						
	非常に良くなった	やや良くなった	横ばい	やや悪くなった	非常に悪くなった	未記入	DI値	非常に良くなる	やや良くなる	横ばい	やや悪くなる	非常に悪くなる	未記入	DI値
全業種	0.0	2.8	21.3	51.3	23.3	1.4	71.8	0.0	2.3	27.3	47.0	19.1	4.2	63.8
建設業	0.0	1.3	13.2	54.6	29.6	1.3	82.9	0.0	1.3	19.7	48.0	25.0	5.9	71.7
製造業	0.0	3.9	23.5	47.1	25.5	0.0	68.7	0.0	1.0	33.3	42.2	19.6	3.9	60.8
卸売業	0.0	4.1	20.3	55.4	18.9	1.4	70.2	0.0	4.1	23.0	54.1	15.5	3.4	65.5
小売業	0.0	3.0	17.9	58.2	19.4	1.5	74.6	0.0	3.0	28.4	46.3	16.4	6.0	59.7
運輸・倉庫業	0.0	3.3	23.3	40.0	33.3	0.0	70.0	0.0	0.0	33.3	43.3	23.3	0.0	66.6
サービス業	0.0	2.1	30.5	45.4	19.1	2.8	62.4	0.0	2.8	34.0	43.3	16.3	3.5	56.8
中小企業	0.0	3.0	20.1	51.2	24.1	1.5	72.3	0.0	2.5	26.6	46.6	19.8	4.5	63.9
大企業	0.0	0.0	38.5	51.3	10.3	0.0	61.6	0.0	0.0	38.5	53.8	7.7	0.0	61.5

2. 生産額、売上高、完成工事高

《5期連続して悪化、次期予測はさらに悪化へ》

生産額、売上額、完成工事高は、全業種平均で「増えた」と回答した企業割合は12.5%、「減った」と回答した企業割合は48.6%となっており、DI値は **36.1**（前期 28.0）と前期比-8.1ポイント悪化した。

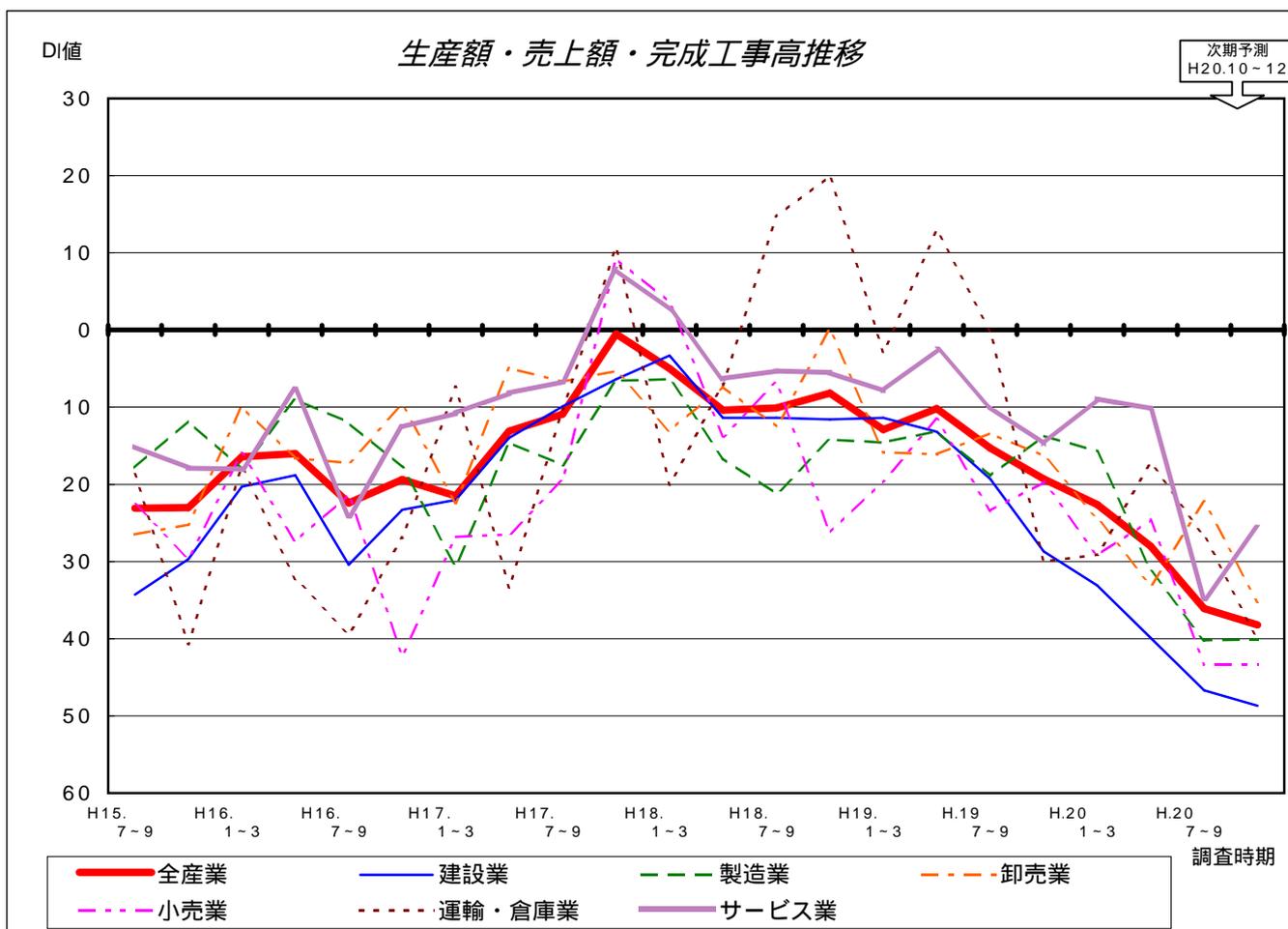
業種別に対前期比でDI値を見ると、卸売業が+10.8ポイントの改善が見られたものの、サービス業-24.6ポイント、小売業-18.7ポイント、運輸・倉庫業-9.4ポイント、製造業-9.0ポイント、建設業-6.8ポイントの悪化となった。

売上が増加した理由としては、「受注、需要の増加」58.8%、「得意先開拓・客数の増加」41.3%に集中している。一方で、減少した理由としては、「受注、需要の減少」82.3%、「客単価の低下」38.9%、「得意先開拓・客数の減少」32.2%、「出荷・販売価格の下、料金改定」31.2%の順となっている。

規模別のDI値を見ると、中小企業は前期比-8.0ポイント（前期DI値 29.1）、大企業では前期比-7.9ポイント（同 10.2）の悪化となった。

（単位 %）

	今四半期(20年7~9月期)実績							次四半期(20年10~12月期)予測						
	2ケタ増	1ケタ増	横ばい	1ケタ減	2ケタ減	未記入	DI値	2ケタ増	1ケタ増	横ばい	1ケタ減	2ケタ減	未記入	DI値
全業種	2.3	10.2	36.3	34.2	14.4	2.7	36.1	0.6	6.9	41.4	35.5	10.2	5.5	38.2
建設業	1.3	5.3	39.5	35.5	17.8	0.7	46.7	0.0	2.0	42.1	34.9	15.8	5.3	48.7
製造業	2.9	11.8	28.4	36.3	18.6	2.0	40.2	1.0	6.9	40.2	38.2	9.8	3.9	40.1
卸売業	4.7	14.2	36.5	30.4	10.8	3.4	22.3	2.0	9.5	37.2	37.2	9.5	4.7	35.2
小売業	0.0	11.9	31.3	41.8	13.4	1.5	43.3	0.0	6.0	37.3	41.8	7.5	7.5	43.3
運輸・倉庫業	3.3	10.0	40.0	36.7	3.3	6.7	26.7	0.0	0.0	53.3	36.7	3.3	6.7	40.0
サービス業	1.4	9.2	39.7	31.2	14.2	4.3	34.8	0.0	11.3	45.4	29.1	7.8	6.4	25.6
中小企業	2.2	9.7	36.3	33.9	15.1	2.8	37.1	0.3	7.0	41.1	34.9	10.8	5.8	38.4
大企業	5.1	17.9	35.9	38.5	2.6	0.0	18.1	5.1	5.1	46.2	43.6	0.0	0.0	33.4



参考資料：(2. 生産額、売上高、完成工事高)

今期の生産額、売上額、完成工事高が前年同期より増加した主な理由(複数回答可) (単位 %)

増加理由	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	然天 条件 候な どの 自	増受 加注 又は 需要 減少	情道 路の 変化 、交 通事	ズは製 消(商)費者 二品 一又	金格出 改の荷 定上・ 販下・ 売販 料価	促売 進出 等 の販 売	へ開新 進発製 出、(商 新分) 野品	業業大 種者手 の進企 参業、 入、他 同	客得 数の 先開 増減 拓	又客 は単 低価 下 の上 昇	品取 量の 製 増(商 減)
全業種	7.5	58.8	2.5	5.0	21.3	5.0	13.8	6.3	41.3	11.3	6.3
建設業	0.0	100.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0	10.0	20.0	20.0	0.0
製造業	6.7	86.7	6.7	6.7	6.7	13.3	26.7	6.7	46.7	13.3	6.7
卸売業	7.1	53.6	0.0	3.6	42.9	0.0	17.9	7.1	42.9	14.3	10.7
小売業	25.0	12.5	0.0	12.5	12.5	25.0	0.0	0.0	25.0	12.5	0.0
運輸・倉庫業	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0
サービス業	6.7	46.7	6.7	6.7	13.3	0.0	6.7	0.0	46.7	0.0	6.7
中小企業	7.0	62.0	2.8	4.2	21.1	2.8	14.1	7.0	40.8	11.3	7.0
大企業	11.1	33.3	0.0	11.1	22.2	22.2	11.1	0.0	44.4	11.1	0.0

増加理由	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
	上品取 の扱 ダ品質 ウ質(商)ウ質 ン(商 向)	採路工 算線場 部拡、 門張、 縮、場 小不、	変移工 場転場 等、 立店 地舗 のの	約支店 店の開 増設、 特	力老設 の朽備 低下、 店競 舗争 の	又両機 は導機 廃入設 止、備 買・ 替車	員営 の業、 増、 減、 外 商 社	手技 の術者 増、 減、 運 転	又駐 は車 閉場 鎖の 増 設	そ の 他	無 回 答
全業種	0.0	2.5	1.3	6.3	2.5	2.5	3.8	0.0	0.0	2.5	1.3
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
製造業	0.0	6.7	6.7	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
卸売業	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0
小売業	0.0	12.5	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
運輸・倉庫業	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス業	0.0	0.0	0.0	6.7	6.7	6.7	13.3	0.0	0.0	13.3	0.0
中小企業	0.0	1.4	1.4	4.2	2.8	2.8	4.2	0.0	0.0	2.8	1.4
大企業	0.0	11.1	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

今期の生産額、売上額、完成工事高が前年同期より減少した主な理由(複数回答可) (単位 %)

減少理由	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	然天 条件 候な どの 自	増受 加注 又は 需要 減少	情道 路の 変化 、交 通事	ズは製 消(商)費者 二品 一又	金格出 改の荷 定上・ 販下・ 売販 料価	促売 進出 等 の販 売	へ開新 進発製 出、(商 新分) 野品	業業大 種者手 の進企 参業、 入、他 同	客得 数の 先開 増減 拓	又客 は単 低価 下 の上 昇	品取 量の 製 増(商 減)
全業種	7.1	82.3	1.6	16.1	31.2	1.6	1.3	15.1	32.2	38.9	9.3
建設業	4.9	95.1	0.0	6.2	29.6	0.0	0.0	17.3	24.7	39.5	6.2
製造業	3.6	89.3	0.0	10.7	28.6	1.8	1.8	12.5	16.1	28.6	8.9
卸売業	8.2	82.0	3.3	24.6	41.0	0.0	0.0	18.0	37.7	36.1	14.8
小売業	16.2	67.6	5.4	32.4	35.1	5.4	5.4	13.5	40.5	54.1	5.4
運輸・倉庫業	25.0	66.7	8.3	8.3	33.3	0.0	0.0	8.3	41.7	41.7	25.0
サービス業	3.1	71.9	0.0	17.2	23.4	3.1	1.6	14.1	43.8	40.6	7.8
中小企業	6.8	82.7	1.7	15.9	31.5	1.0	1.4	15.9	32.2	38.3	9.8
大企業	12.5	75.0	0.0	18.8	25.0	12.5	0.0	0.0	31.3	50.0	0.0

減少理由	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
	上品取 の扱 ダ品質 ウ質(商)ウ質 ン(商 向)	採路工 算線場 部拡、 門張、 縮、場 小不、	変移工 場転場 等、 立店 地舗 のの	約支店 店の開 増設、 特	力老設 の朽備 低下、 店競 舗争 の	又両機 は導機 廃入設 止、備 買・ 替車	員営 の業、 増、 減、 外 商 社	手技 の術者 増、 減、 運 転	又駐 は車 閉場 鎖の 増 設	そ の 他	無 回 答
全業種	1.0	1.3	1.0	1.0	4.5	1.9	4.5	4.2	0.0	8.4	0.6
建設業	1.2	0.0	1.2	0.0	4.9	2.5	3.7	4.9	0.0	4.9	0.0
製造業	0.0	1.8	0.0	0.0	1.8	1.8	1.8	1.8	0.0	10.7	1.8
卸売業	1.6	1.6	0.0	0.0	1.6	0.0	4.9	0.0	0.0	8.2	0.0
小売業	0.0	2.7	2.7	2.7	10.8	2.7	5.4	2.7	0.0	10.8	0.0
運輸・倉庫業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
サービス業	1.6	1.6	1.6	3.1	6.3	0.0	7.8	4.7	0.0	10.9	1.6
中小企業	1.0	0.7	0.7	0.7	4.4	2.0	4.7	4.4	0.0	8.1	0.7
大企業	0.0	12.5	6.3	6.3	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0

3. 原材料、製（商）品仕入価格

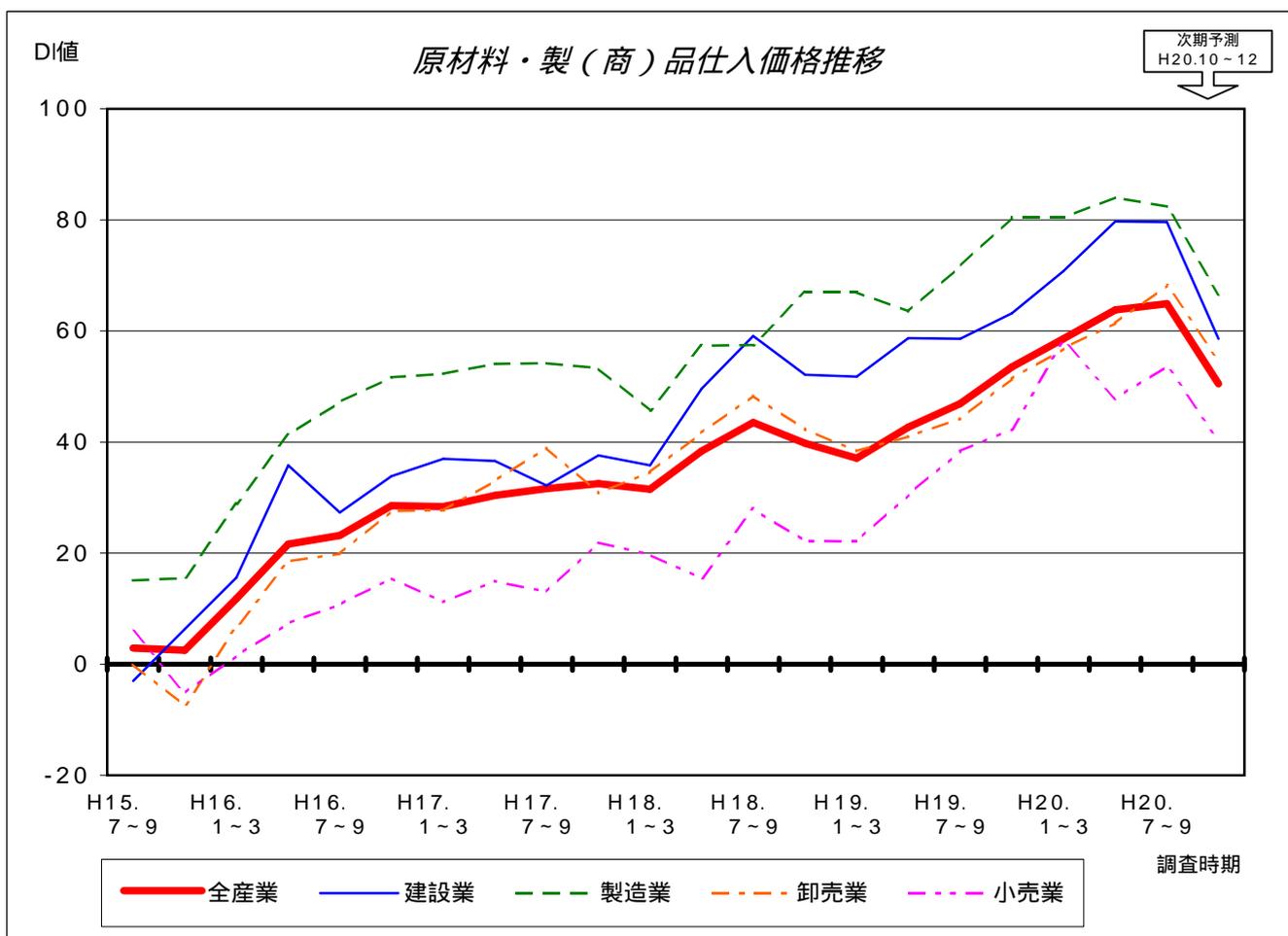
《6期連続して上昇、次期予測は反転し下落へ》

原材料、製（商）品仕入価格は「上昇」と回答した企業割合は66.3%、「下落」と回答した企業割合は1.4%となっており、DI値は64.9（前期DI値63.8）と前期比+1.1ポイントの「上昇」となっている。

業種別に対前期比でDI値を見ると、卸売業+6.8ポイント、小売業+5.9ポイントの上昇となっており、製造業-1.6ポイント、建設業-0.1ポイントの減少となっている。

また、次期予測DI値については、50.5となっており、今期比で-14.4ポイントの「下落」予測となっている。

	今四半期(20年7~9月期)実績					次四半期(20年10~12月期)予測				
	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値
全業種	66.3	22.7	1.4	9.7	64.9	53.0	31.1	2.5	13.4	50.5
建設業	80.9	14.5	1.3	3.3	79.6	61.2	29.6	2.6	6.6	58.6
製造業	82.4	17.6	0.0	0.0	82.4	67.6	25.5	1.0	5.9	66.6
卸売業	69.6	28.4	1.4	0.7	68.2	56.1	36.5	1.4	6.1	54.7
小売業	56.7	34.3	3.0	6.0	53.7	46.3	37.3	6.0	10.4	40.3
運輸・倉庫業	40.0	13.3	0.0	46.7	40.0	23.3	26.7	0.0	50.0	23.3
サービス業	45.4	25.5	2.1	27.0	43.3	39.7	29.1	3.5	27.7	36.2
中小企業	66.4	23.1	1.5	9.0	64.9	52.4	31.9	2.7	13.0	49.7
大企業	64.1	15.4	0.0	20.5	64.1	61.5	17.9	0.0	20.5	61.5



4. 受注価格、販売価格

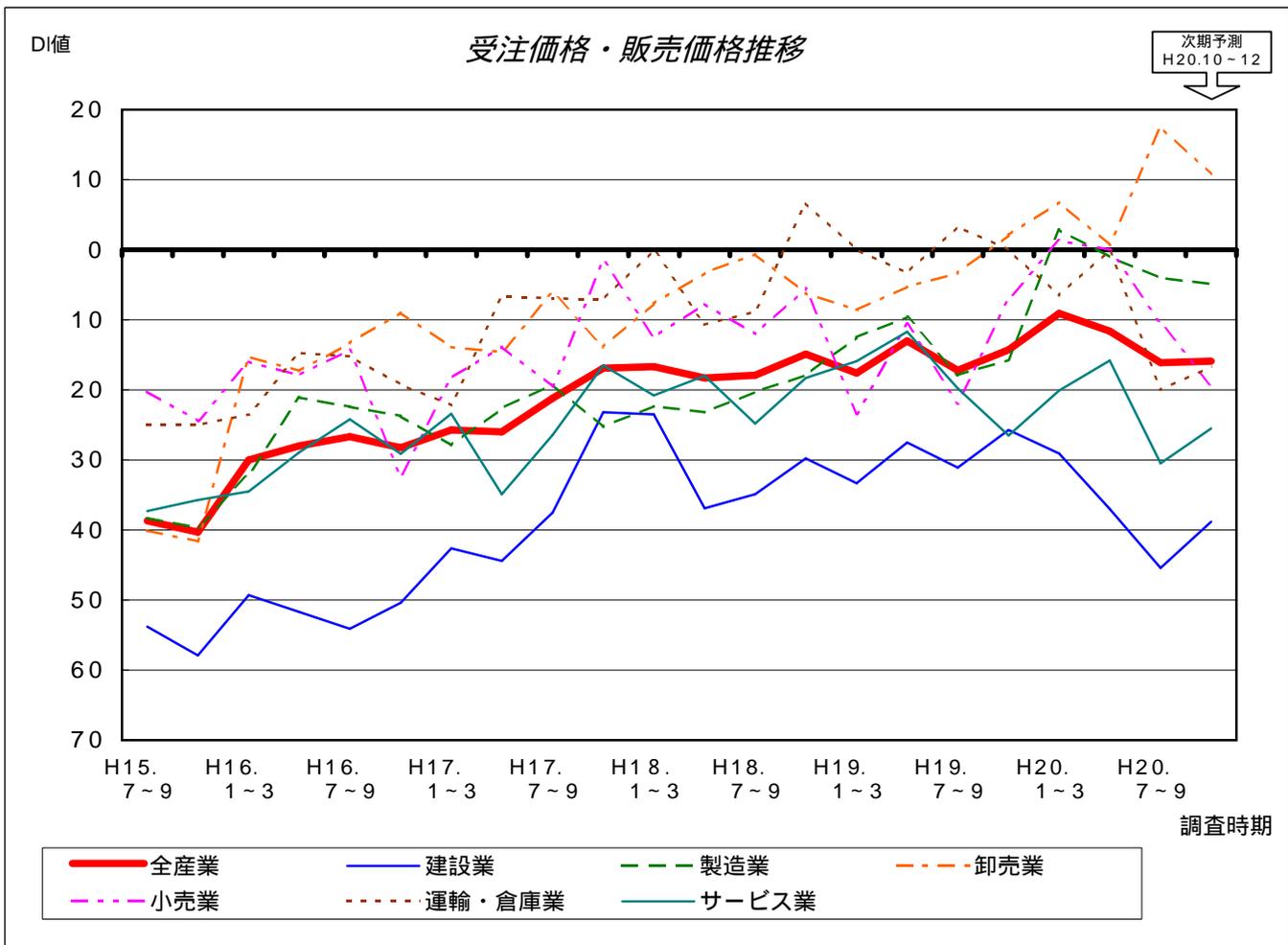
《2期連続して悪化、次期予測は反転し改善へ》

受注価格、販売価格については、「上昇」と回答した企業割合は13.4%、「下落」と回答した企業割合は29.5%となっており、DI値は16.1(前期DI値11.6)と前期比-4.5ポイント悪化した。

業種別に対前期比でDI値を見ると、卸売業+16.9ポイント改善したが、運輸・倉庫業-20.0ポイント、サービス業-14.7ポイント、小売業-10.5ポイント、建設業-8.4ポイント、製造業-3.0ポイントの悪化となった。

次四半期予測DI値については、15.9となっており、今期比で+0.2ポイントの改善予測となっている。

	(受注価格、販売価格(前年同月と比較して))					(単位%)				
	今四半期(20年7~9月期)実績					次四半期(20年10~12月期)予測				
	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値
全業種	13.4	53.6	29.5	3.4	16.1	10.5	56.3	26.4	6.9	15.9
建設業	3.3	46.7	48.7	1.3	45.4	2.0	52.6	40.8	4.6	38.8
製造業	17.6	60.8	21.6	0.0	4.0	14.7	58.8	19.6	6.9	4.9
卸売業	30.4	55.4	12.8	1.4	17.6	21.6	61.5	10.8	6.1	10.8
小売業	17.9	50.7	28.4	3.0	10.5	13.4	47.8	32.8	6.0	19.4
運輸・倉庫業	0.0	53.3	20.0	26.7	20.0	0.0	53.3	16.7	30.0	16.7
サービス業	4.3	55.3	34.8	5.7	30.5	5.7	57.4	31.2	5.7	25.5
中小企業	13.3	52.9	30.3	3.5	17.0	10.3	55.4	27.1	7.2	16.8
大企業	15.4	64.1	17.9	2.6	2.5	12.8	69.2	15.4	2.6	2.6



5. 製(商)品在庫

《3期連続して悪化、次期予測は反転し改善へ》

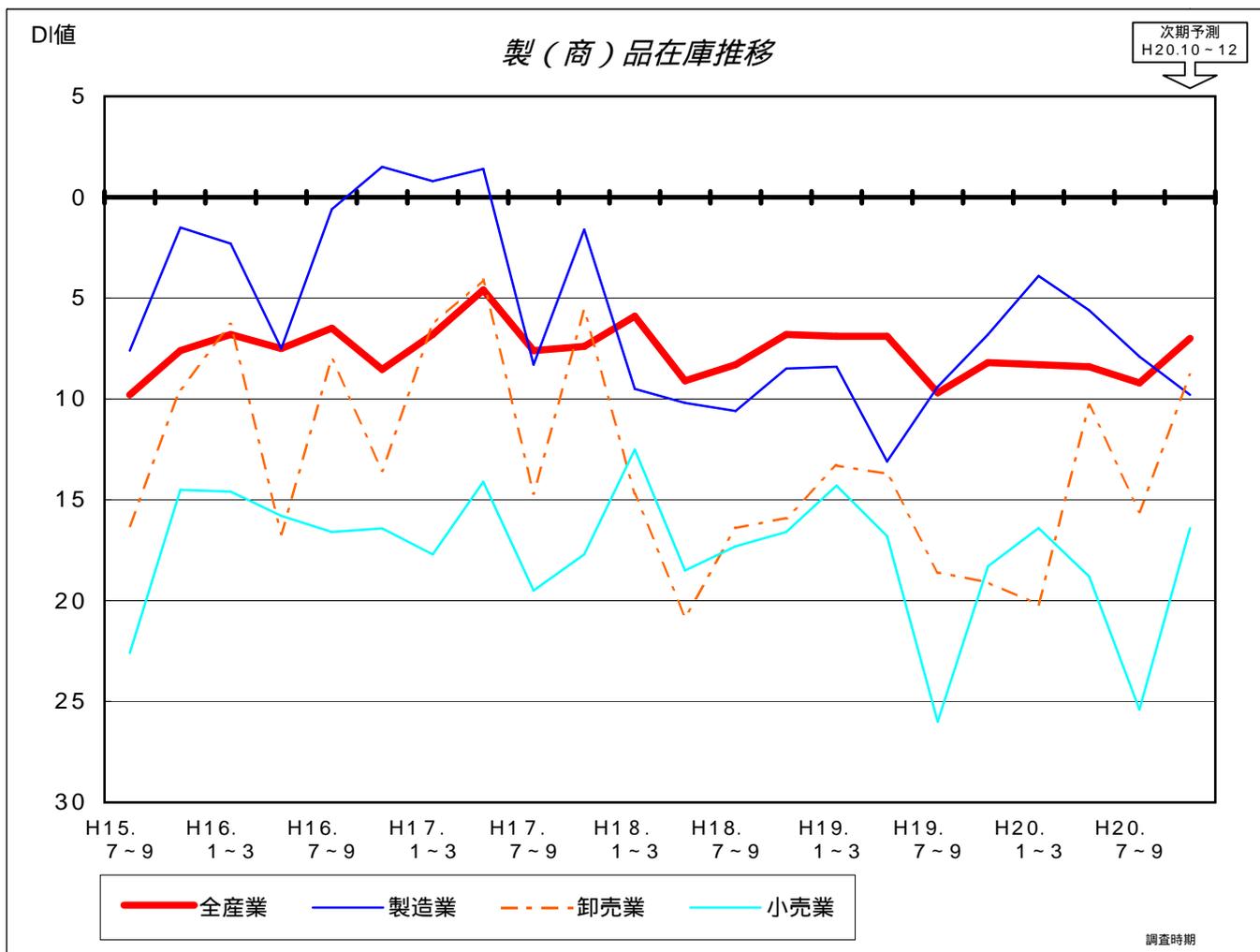
製(商)品在庫は、「適正」と回答した企業割合は61.4%、「不足」と回答した企業割合は1.9%、「過剰」と回答した企業割合は11.1%となっており、DI値は9.2(前期DI値8.4)と前期比-0.8ポイント悪化した。

次四半期予測DI値については7.0となっており、今期比で+2.2ポイントの改善が予測されている。

(製(商)品在庫(貴社の適正水準と比較して))

(単位%)

	今四半期(20年7~9月期)実績					次四半期(20年10~12月期)予測				
	不足	適正	過剰	未記入	DI値	不足	適正	過剰	未記入	DI値
全業種	1.9	61.4	11.1	25.6	9.2	2.7	60.0	9.7	27.7	7.0
建設業	0.7	48.7	3.9	46.7	3.2	0.7	48.0	3.3	48.0	2.6
製造業	2.9	80.4	10.8	5.9	7.9	1.0	78.4	10.8	9.8	9.8
卸売業	2.0	77.0	17.6	3.4	15.6	4.7	75.0	13.5	6.8	8.8
小売業	1.5	65.7	26.9	6.0	25.4	3.0	67.2	19.4	10.4	16.4
運輸・倉庫業	0.0	16.7	10.0	73.3	10.0	0.0	13.3	10.0	76.7	10.0
サービス業	2.8	52.5	5.0	39.7	2.2	4.3	50.4	7.1	38.3	2.8
中小企業	2.0	61.6	11.0	25.5	9.0	2.8	60.2	9.3	27.6	6.5
大企業	0.0	59.0	12.8	28.2	12.8	0.0	56.4	15.4	28.2	15.4



6. 営業利益

《2期ぶりに改善、次期予測はさらに改善へ》

営業利益は、「増加」と回答した企業割合は8.8%、「減少した」と回答した企業割合は57.5%、「横ばい」と回答した企業割合は32.7%となり、DI値は48.7（前期DI 49.1）と前期比+0.4ポイント改善した。

業種別に対前期比でDI値を見ると、製造業+6.8ポイント（前期DI値 50.9）、卸売業+5.6ポイント（同 40.7）、小売業+4.6ポイント（同 50.8）、建設業+4.1ポイント（同 66.6）改善したものの、サービス業-14.6ポイント（同 35.7）、運輸・倉庫業-4.8ポイント（同 55.2）の悪化となった。

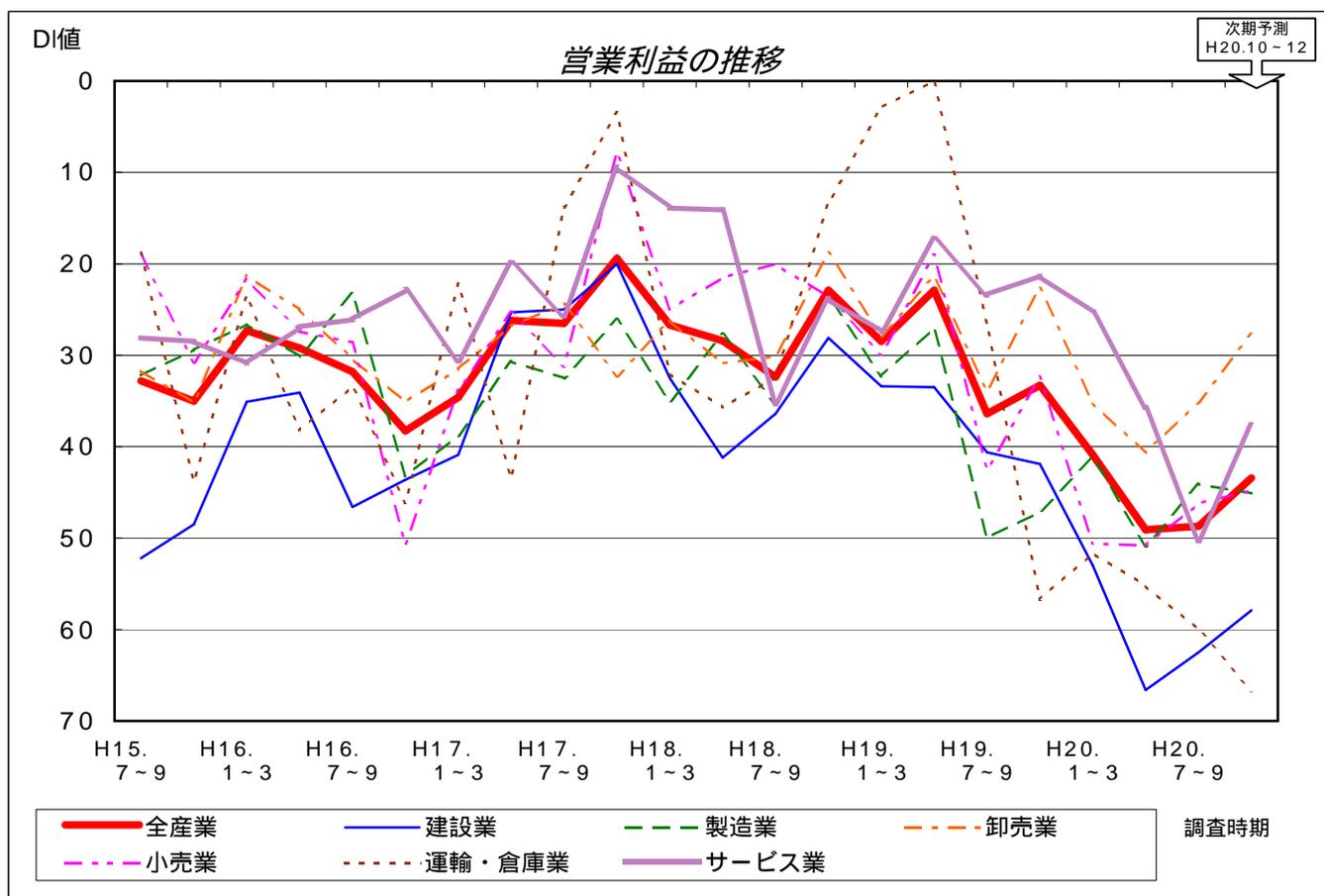
規模別のDI値を見ると、中小企業は前期比-0.9ポイント（前期DI 49.8）悪化したものの、大企業では前期比+20.5ポイント（同 38.5）改善した。

次四半期予測DI値は43.4と、今期比で+5.3ポイントの改善が予測されている。

（営業利益（前年同期と比較して））

（単位 %）

	今四半期(20年7~9月期)実績					次四半期(20年10~12月期)予測				
	増加	横ばい	減少	未記入	DI値	増加	横ばい	減少	未記入	DI値
全業種	8.8	32.7	57.5	1.1	48.7	6.4	39.2	49.8	4.5	43.4
建設業	3.9	28.9	66.4	0.7	62.5	2.6	32.9	60.5	3.9	57.9
製造業	13.7	27.5	57.8	1.0	44.1	8.8	29.4	53.9	7.8	45.1
卸売業	14.2	35.8	49.3	0.7	35.1	9.5	49.3	37.2	4.1	27.7
小売業	9.0	35.8	55.2	0.0	46.2	3.0	43.3	47.8	6.0	44.8
運輸・倉庫業	6.7	23.3	66.7	3.3	60.0	0.0	26.7	66.7	6.7	66.7
サービス業	5.0	37.6	55.3	2.1	50.3	8.5	43.3	46.1	2.1	37.6
中小企業	8.2	31.8	58.9	1.2	50.7	6.3	38.3	50.6	4.8	44.3
大企業	17.9	46.2	35.9	0.0	18.0	7.7	53.8	38.5	0.0	30.8



7. 売掛期間

《2期連続して悪化、次期予測はさらに悪化へ》

売掛期間は、「短縮化」と回答した企業割合は0.8%、「長期化」と回答した企業割合は11.6%、「不変」と回答した企業割合は84.7%となっており、DI値は10.8と前期比-1.2ポイント悪化した。

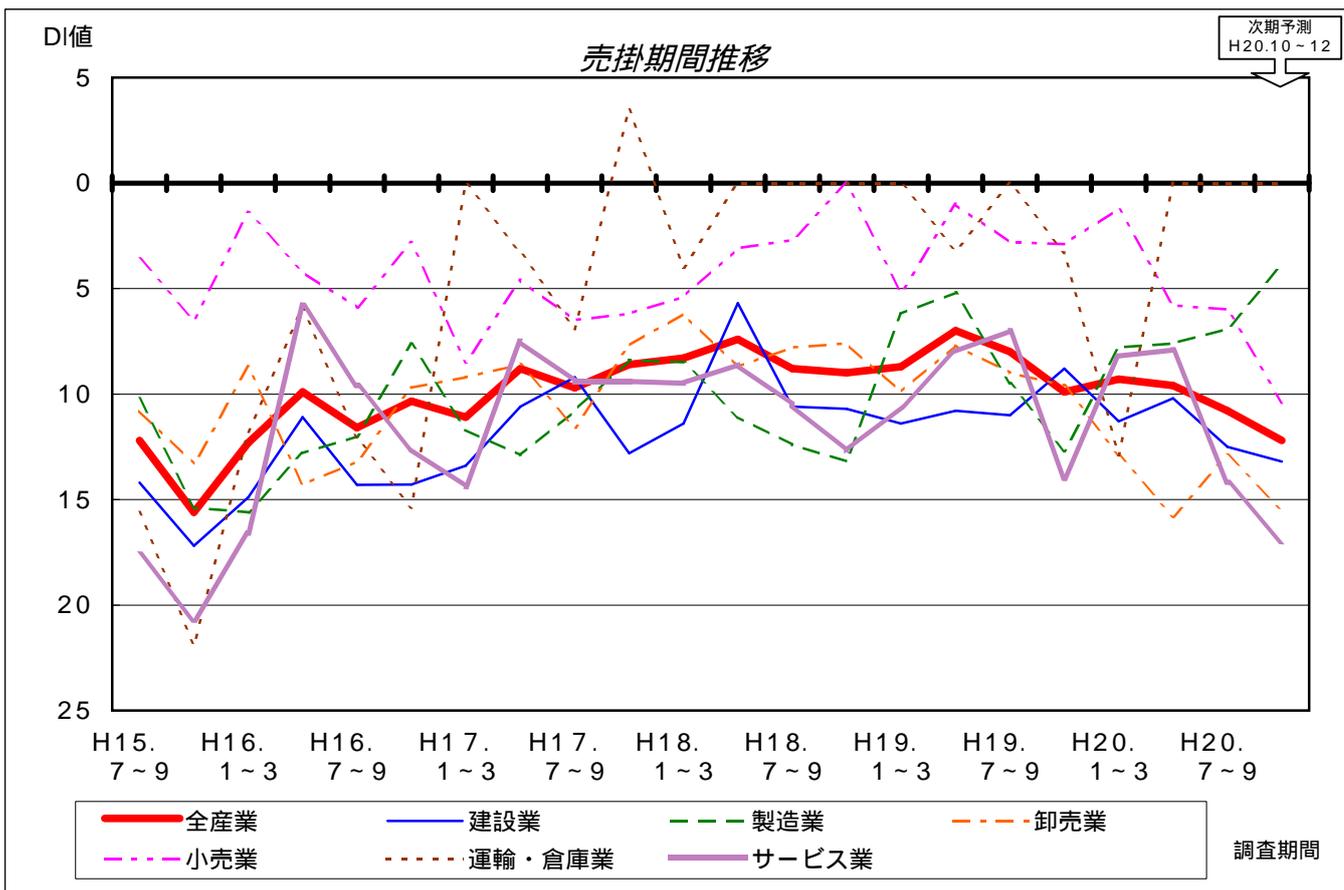
規模別のDI値を見ると、中小企業は前期比-0.7ポイント（前期DI 10.4）、大企業では前期比-7.7ポイント（同+2.6）悪化した。

次四半期のDI値については12.2と、今期比で-1.4ポイントの悪化が予測されている。

（売掛期間（前年同期と比較して））

（単位 %）

	今四半期(20年7~9月期)実績					次四半期(20年10~12月期)予測				
	短縮化	不変	長期化	未記入	DI値	短縮化	不変	長期化	未記入	DI値
全業種	0.8	84.7	11.6	3.0	10.8	0.6	79.5	12.8	7.0	12.2
建設業	0.7	83.6	13.2	2.6	12.5	0.0	80.9	13.2	5.9	13.2
製造業	0.0	93.1	6.9	0.0	6.9	1.0	85.3	4.9	8.8	3.9
卸売業	2.0	82.4	14.9	0.7	12.9	0.7	77.7	16.2	5.4	15.5
小売業	1.5	85.1	7.5	6.0	6.0	1.5	76.1	11.9	10.4	10.4
運輸・倉庫業	0.0	93.3	0.0	6.7	0.0	0.0	90.0	0.0	10.0	0.0
サービス業	0.0	80.1	14.2	5.7	14.2	0.7	75.2	17.7	6.4	17.0
中小企業	0.7	85.0	11.8	2.5	11.1	0.5	79.5	13.1	6.8	12.6
大企業	2.6	79.5	7.7	10.3	5.1	2.6	79.5	7.7	10.3	5.1



8. 資金繰り

《2期連続して悪化、次期予測はさらに悪化へ》

資金繰りについては、「楽である」と回答した企業は3.4%、「苦しい」と回答した企業は31.7%、「不変」と回答した企業は63.1%となっており、DI値は 28.3（前期DI 24.0）と前期比-4.3ポイント悪化した。

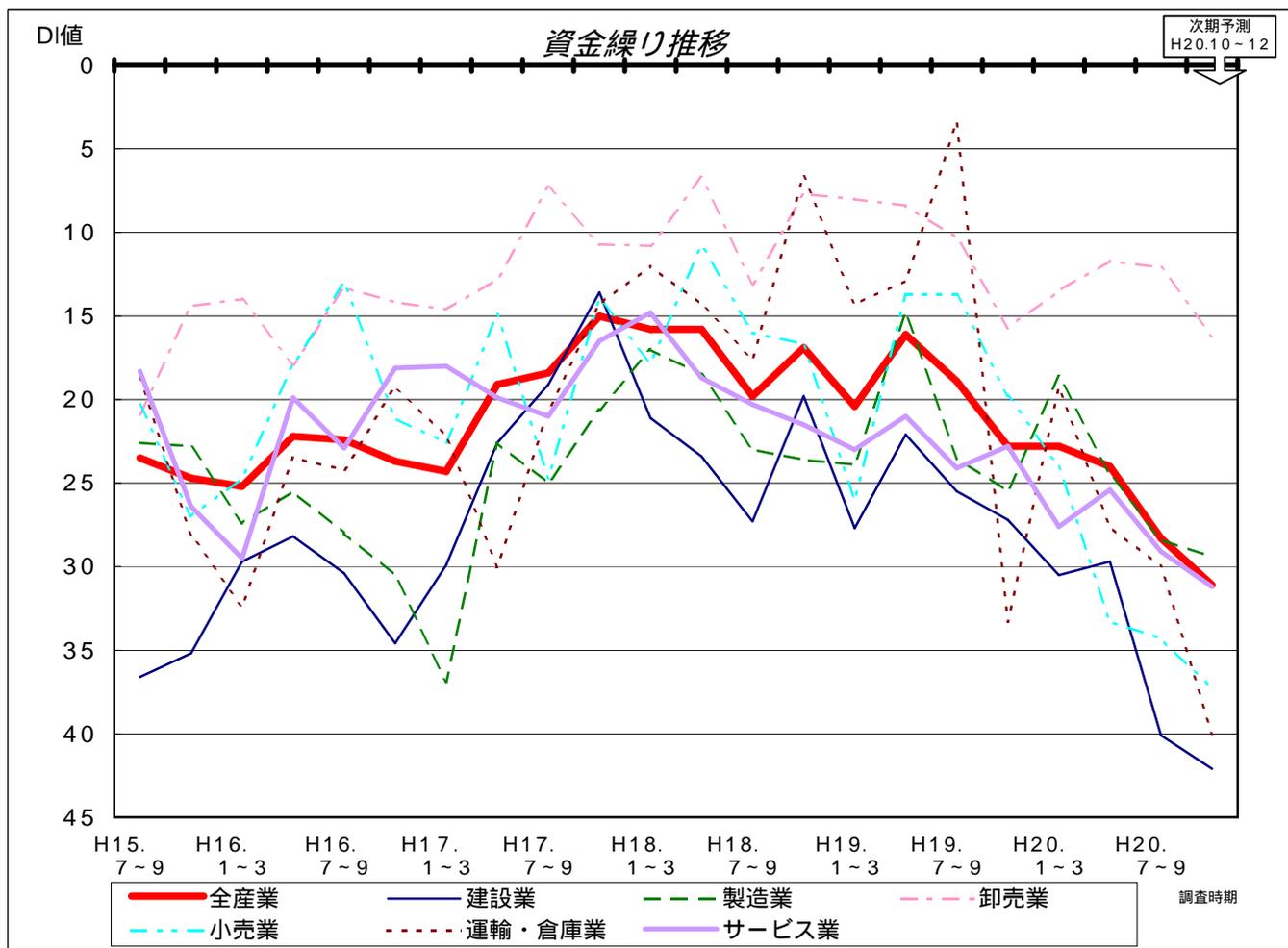
業種別に対前期比でDI値を見ると、建設業-10.4ポイント、製造業-3.9ポイント、サービス業-3.7ポイント、運輸・倉庫業-2.4ポイント、小売業-1.0ポイント、卸売業-0.4ポイントの悪化となった。

規模別のDI値を見ると、中小企業は前期比-5.1ポイント（前期DI 24.7）の悪化となったものの、大企業では前期比+7.7ポイント（同 12.8）の改善となった。

（資金繰り(前年同期と比較して)）

（単位 %）

	今四半期(20年7~9月期)実績					次四半期(20年10~12月期)予測				
	楽である	不変	苦しい	未記入	DI値	楽になる	不変	苦しくなる	未記入	DI値
全業種	3.4	63.1	31.7	1.7	28.3	2.3	59.2	33.4	5.0	31.1
建設業	2.0	55.9	42.1	0.0	40.1	0.7	53.3	42.8	3.3	42.1
製造業	4.9	59.8	33.3	2.0	28.4	4.9	52.9	34.3	7.8	29.4
卸売業	6.8	73.0	18.9	1.4	12.1	4.1	69.6	20.3	6.1	16.2
小売業	1.5	61.2	35.8	1.5	34.3	0.0	55.2	37.3	7.5	37.3
運輸・倉庫業	0.0	66.7	30.0	3.3	30.0	0.0	53.3	40.0	6.7	40.0
サービス業	2.1	63.1	31.2	3.5	29.1	2.1	62.4	33.3	2.1	31.2
中小企業	3.5	61.9	33.3	1.3	29.8	2.3	58.2	34.6	4.8	32.3
大企業	2.6	82.1	7.7	7.7	5.1	2.6	74.4	15.4	7.7	12.8



9. 100万円以上の新規借入

100万円以上の新規借入を「行った」とする企業は47.2%（前期41.4%）と前期比で+5.8%の増加となった。一方で、「行ってない」とする企業は50.9%（前期56.8%）と前期比で-5.9%の減少となった。

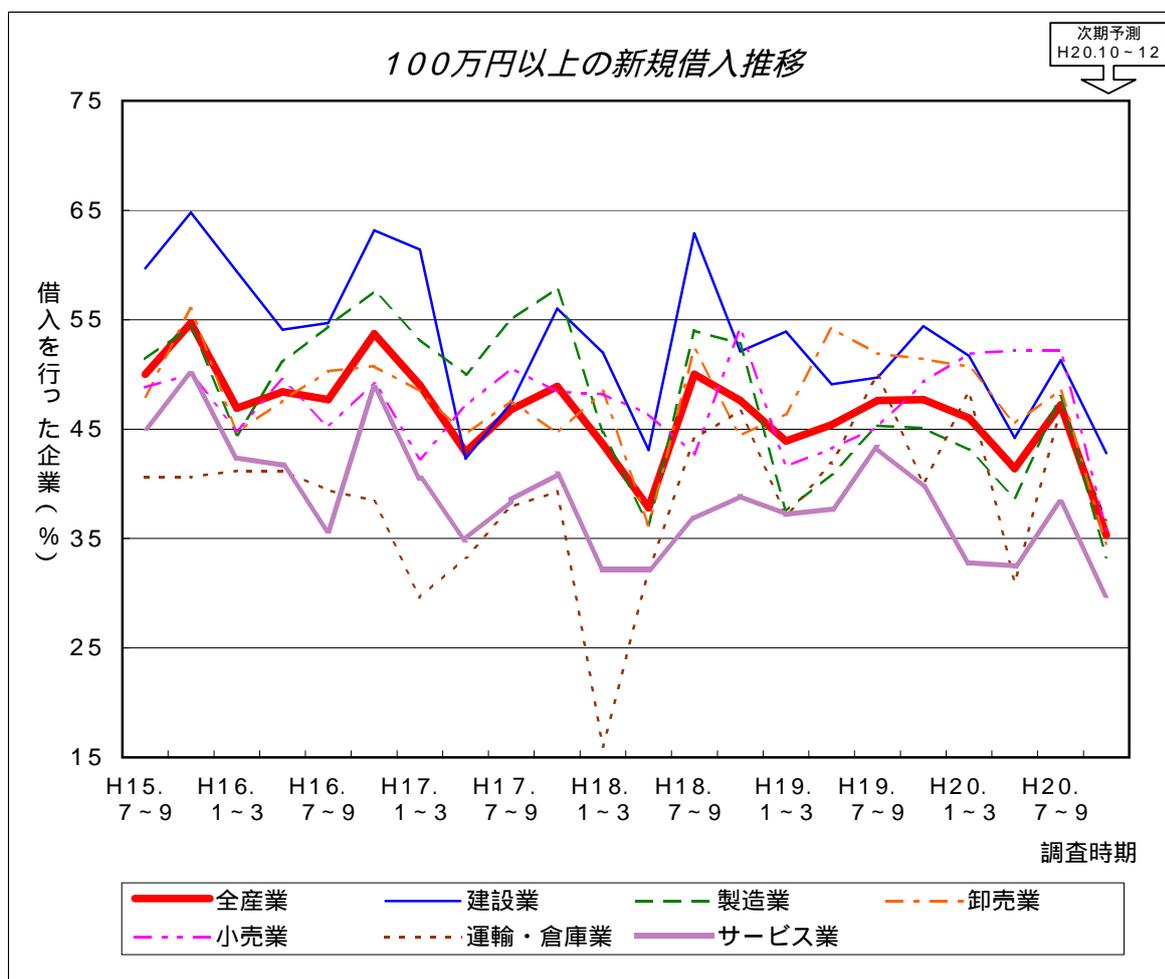
資金用途については、「運転」75.5%、「運転・設備」16.9%、「設備」3.3%という内訳になっている。

次四半期については、「行う予定」とする企業は35.5%、「行わない」とする企業は57.3%となっている。

（100万円以上の新規借入）

（単位：%）

	今四半期(20年7~9月期)実績			次四半期(20年10~12月期)予測		
	行った	行ってない	無回答	行う予定	行わない	無回答
全業種	47.2	50.9	1.9	35.5	57.3	7.2
建設業	51.3	48.0	0.7	42.8	52.0	5.3
製造業	48.0	48.0	3.9	33.3	55.9	10.8
卸売業	48.6	49.3	2.0	34.5	58.8	6.8
小売業	52.2	46.3	1.5	35.8	52.2	11.9
運輸・倉庫業	46.7	53.3	0.0	36.7	53.3	10.0
サービス業	38.3	59.6	2.1	29.8	66.0	4.3
中小企業	46.3	52.2	1.5	33.9	59.2	6.8
大企業	61.5	30.8	7.7	59.0	28.2	12.8



100万円以上の新規借入資金使途

(単位 %)

	今四半期100万円以上の 新規借入の資金使途(実績)				次四半期100万円以上の 新規借入予定の資金使途(予測)			
	運転資金	運転設備	設備資金	無回答	運転資金	運転設備	設備資金	無回答
全業種	75.5	16.9	3.3	4.3	78.9	11.9	4.8	4.4
建設業	83.3	11.5	2.6	2.6	89.2	4.6	3.1	3.1
製造業	83.7	12.2	4.1	0.0	82.4	5.9	5.9	5.9
卸売業	77.8	15.3	2.8	4.2	80.4	17.6	0.0	2.0
小売業	57.1	31.4	5.7	5.7	50.0	29.2	16.7	4.2
運輸・倉庫業	42.9	50.0	0.0	7.1	63.6	18.2	9.1	9.1
サービス業	74.1	13.0	3.7	9.3	78.6	9.5	4.8	7.1
中小企業	78.8	14.0	2.5	4.7	82.8	7.8	4.4	4.9
大企業	37.5	50.0	12.5	0.0	43.5	47.8	8.7	0.0

10. 100万円以上の設備投資

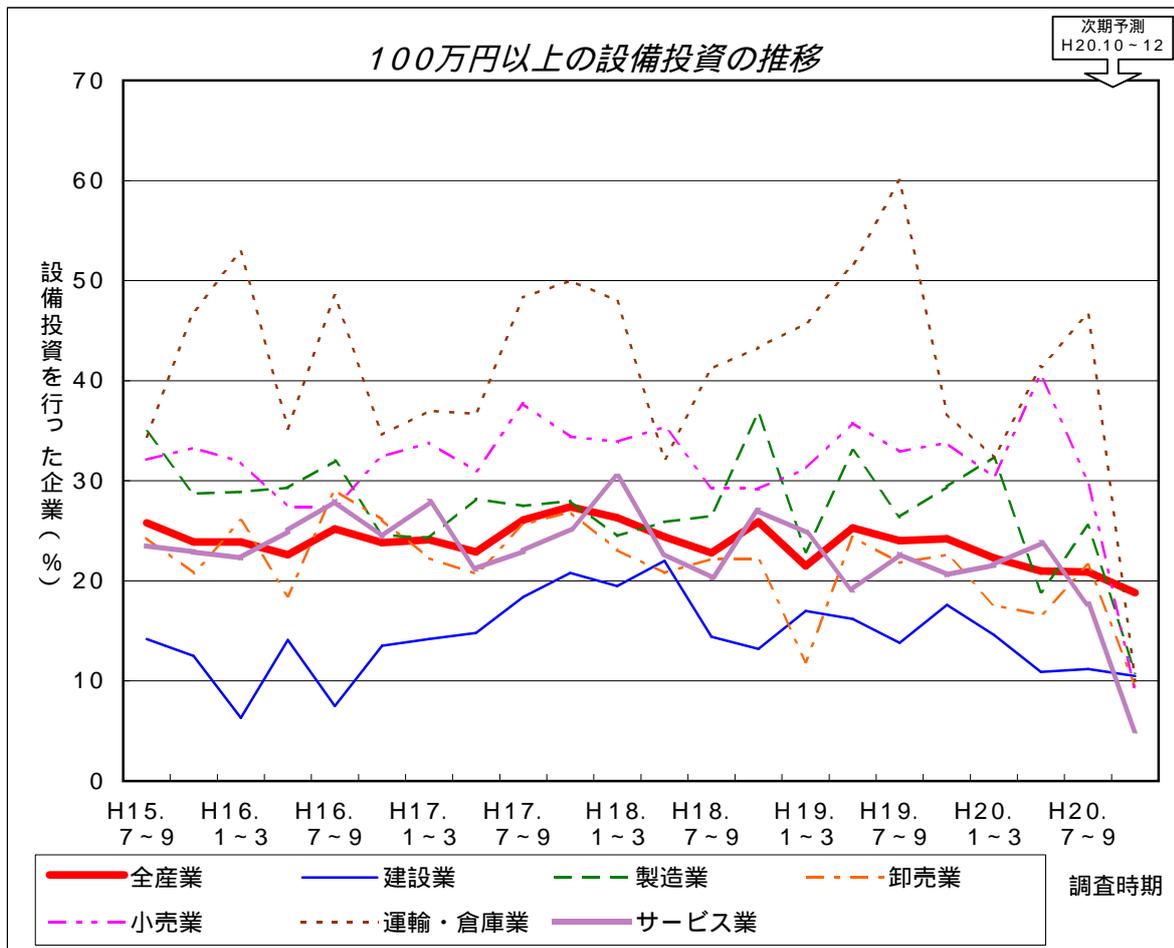
100万円以上の設備投資を「行った」とする企業は20.9%、「行ってない」とする企業は74.5%となっており、その投資内容については、「新規」24.6%、「新規・更新」34.3%、「更新」32.8%という内訳になった。

次期予測については、「行う予定」とする企業は18.8%、「行わない」とする企業は73.3%であり、その投資内容については、「新規」16.7%、「新規・更新」43.3%、「更新」32.5%となっている。

(100万円以上の設備投資)

(単位 %)

	今四半期(20年7~9月期)実績			次四半期(20年10~12月期)予測		
	行った	行ってない	無回答	行う予定	行わない	無回答
全業種	20.9	74.5	4.5	18.8	73.3	8.0
建設業	11.2	85.5	3.3	10.5	82.9	6.6
製造業	25.5	70.6	3.9	19.6	69.6	10.8
卸売業	21.6	73.0	5.4	18.2	72.3	9.5
小売業	29.9	67.2	3.0	29.9	61.2	9.0
運輸・倉庫業	46.7	50.0	3.3	33.3	56.7	10.0
サービス業	17.7	75.9	6.4	19.1	75.9	5.0
中小企業	17.8	78.2	4.0	15.5	76.9	7.7
大企業	69.2	17.9	12.8	69.2	17.9	12.8



100万円以上の設備投資

(単位 %)

	今四半期100万円以上の 設備投資の資金使途(実績)				次四半期100万円以上の 設備投資計画の資金使途(予測)			
	新規	新規、更新	更新	無回答	新規	新規、更新	更新	無回答
全業種	24.6	34.3	32.8	8.2	16.7	43.3	32.5	7.5
建設業	47.1	5.9	47.1	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0
製造業	26.9	23.1	26.9	23.1	10.0	25.0	50.0	15.0
卸売業	18.8	40.6	37.5	3.1	18.5	51.9	25.9	3.7
小売業	10.0	45.0	40.0	5.0	20.0	45.0	35.0	0.0
運輸・倉庫業	14.3	50.0	28.6	7.1	0.0	50.0	40.0	10.0
サービス業	32.0	40.0	20.0	8.0	18.5	55.6	11.1	14.8
中小企業	28.0	29.0	32.7	10.3	18.3	37.6	34.4	9.7
大企業	11.1	55.6	33.3	0.0	11.1	63.0	25.9	0.0

11. 当面の経営上の問題点

当面の経営上の問題点としては、「受注、販売競争の激化」58.8%、「売上高、生産額、工事高の伸び悩み」58.1%、「営業利益の低下」51.6%、「原材料高、入手難」35.6%、「販売価格への転嫁難」31.7%、「経費の増加」31.3%の6項目を指摘する傾向が続いており、全業種ともほぼ6項目に集中している。

他に指摘が集中した項目として、建設業の「官公需要の停滞」44.1%、運輸・倉庫業の「人材難、求人難、定着性の悪化」30.0%が挙げられ、いずれも3割を超す指摘となっている。

(当面の経営上の問題点(複数回答可))

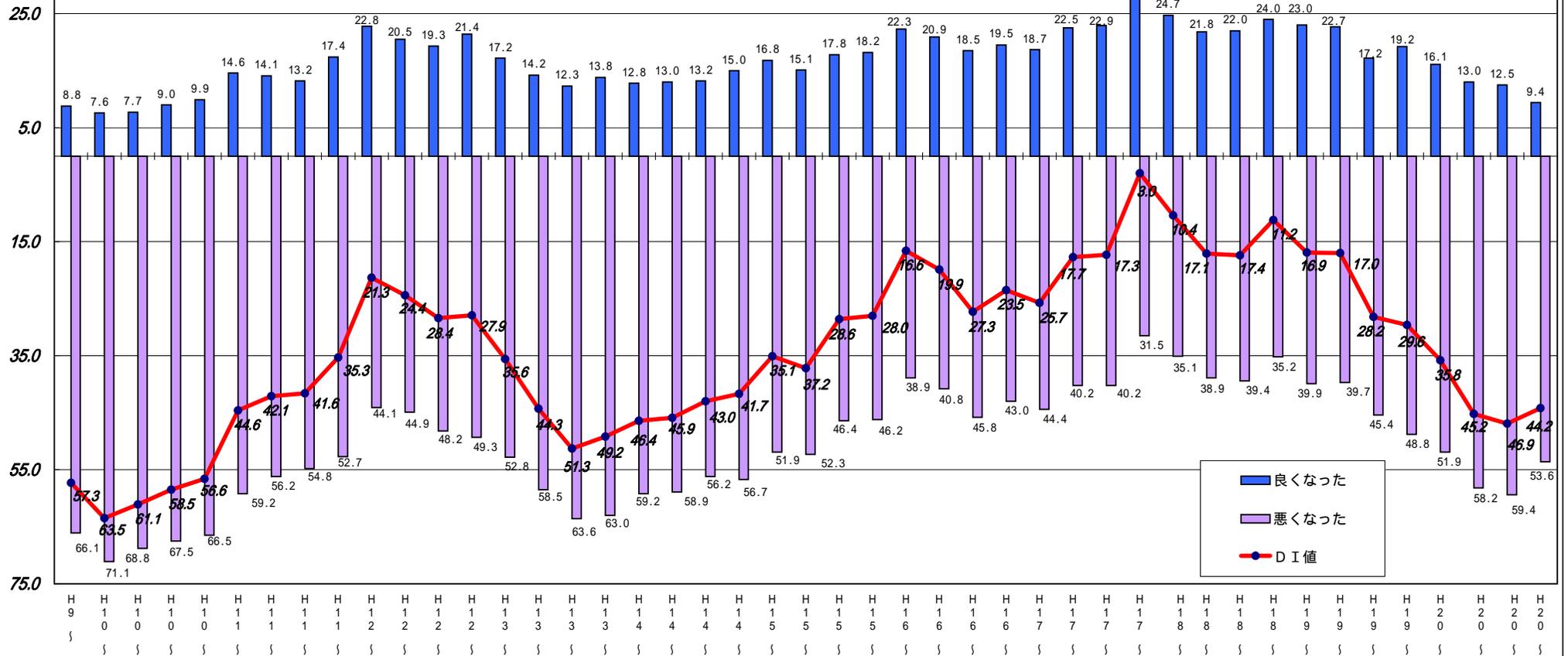
(単位 %)

問題点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	の受注、販売競争の激化	び額売、上額、工事高の伸び悩み	出店、業者、大型店の進	店同、業者、大型店の停滞	官公需要の停滞	輸出不振	元請の減少	低下率、稼働率	難原材料高、入手	の出荷、納品価格	過剰在庫	嫁販売価格への転	増難販、代金の回収
全業種	58.8	58.1	11.9	21.4	0.3	8.8	6.6	35.6	11.3	5.5	31.7	8.1	7.7
建設業	73.0	69.7	5.9	44.1	0.0	27.6	5.9	46.1	3.9	1.3	19.7	5.9	7.9
製造業	54.9	52.9	9.8	15.7	1.0	1.0	10.8	58.8	11.8	4.9	36.3	4.9	3.9
卸売業	62.8	54.1	10.1	14.9	0.7	1.4	3.4	28.4	18.2	9.5	52.0	16.9	11.5
小売業	49.3	55.2	26.9	10.4	0.0	0.0	3.0	20.9	13.4	16.4	29.9	4.5	3.0
運輸・倉庫業	30.0	46.7	6.7	16.7	0.0	3.3	16.7	36.7	0.0	0.0	23.3	10.0	0.0
サービス業	52.5	57.4	15.6	14.2	0.0	7.1	7.1	22.0	12.8	2.1	22.7	5.0	9.9
中小企業	58.7	57.9	11.0	22.0	0.3	9.0	6.8	35.4	11.5	5.3	32.1	8.3	8.0
大企業	59.0	61.5	25.6	12.8	0.0	5.1	2.6	38.5	7.7	7.7	25.6	5.1	2.6

問題点	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
	経費の増加	営業利益の低下	不隘店、舗、駐工場用地狭	代化、舗、老朽化、設備過	店剩、舗、設	が家、り賃地代の値上	化難、材、定着、性の悪	費人、手過剩、人件	対労、策務管理、組合	資金借入難	金利負担増加	難情報不足、人材	その他
全業種	31.3	51.6	1.3	4.8	1.4	16.7	6.1	3.8	9.2	8.9	3.8	1.7	1.9
建設業	27.6	60.5	0.0	3.3	0.0	13.8	4.6	1.3	12.5	8.6	3.9	1.3	1.3
製造業	21.6	47.1	0.0	5.9	1.0	12.7	2.9	2.9	7.8	8.8	2.9	2.9	2.0
卸売業	31.8	48.0	2.0	3.4	0.7	7.4	5.4	1.4	6.8	10.1	3.4	1.4	2.7
小売業	25.4	43.3	1.5	9.0	4.5	19.4	10.4	6.0	11.9	10.4	4.5	1.5	0.0
運輸・倉庫業	63.3	60.0	0.0	10.0	0.0	30.0	6.7	10.0	6.7	10.0	0.0	3.3	6.7
サービス業	37.6	51.1	2.8	4.3	2.8	28.4	8.5	7.1	8.5	7.1	5.0	1.4	1.4
中小企業	30.4	52.7	1.3	4.5	1.2	16.1	6.0	3.3	9.7	8.8	3.8	1.7	1.7
大企業	43.6	33.3	0.0	10.3	5.1	25.6	7.7	10.3	2.6	10.3	2.6	2.6	5.1

自社業況の景況判断推移（「良くなった」「悪くなった」別、時代背景参考）

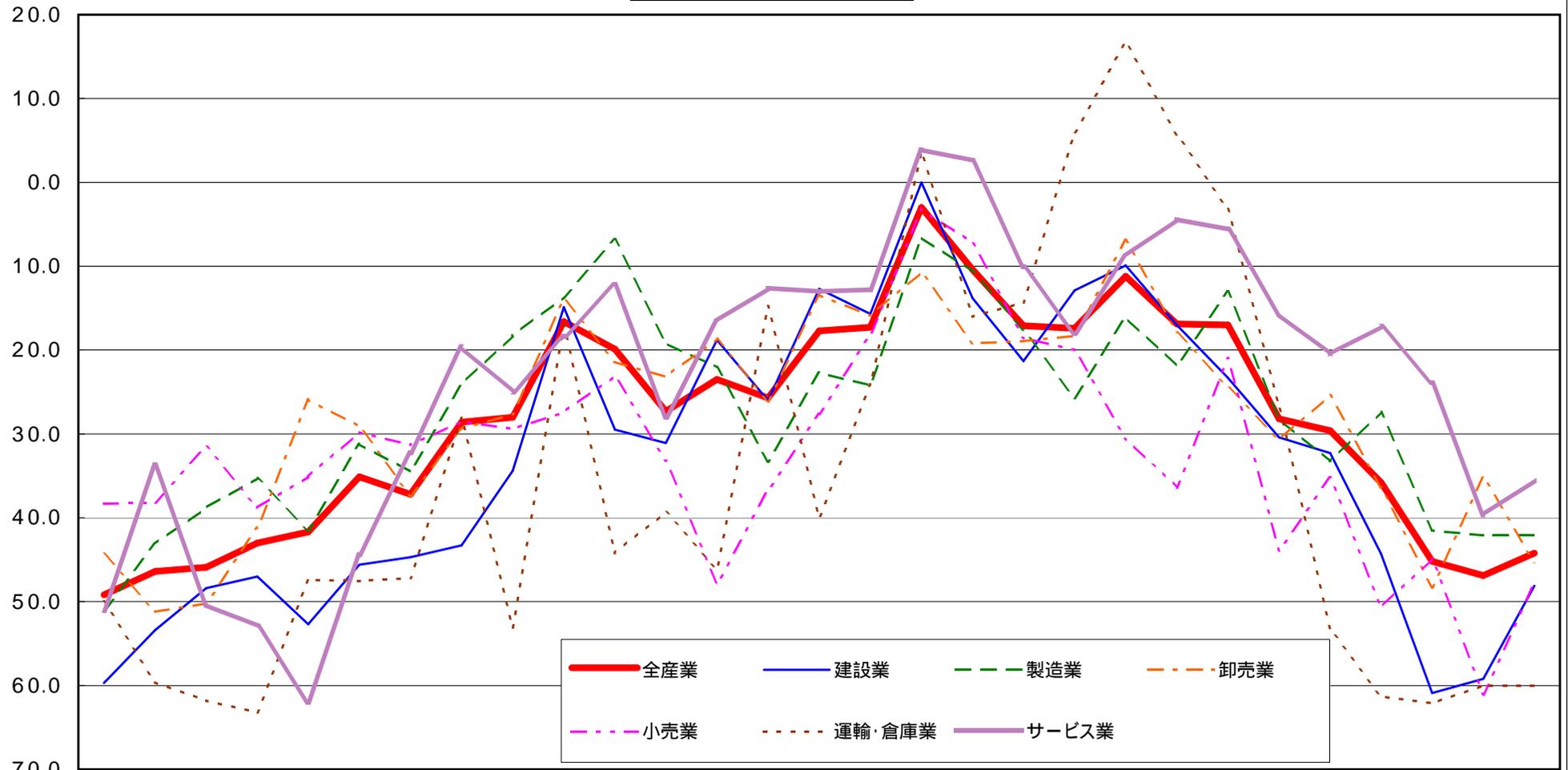
自社業況DI値の推移



■ 良くなった
■ 悪くなった
● DI値

三洋山一拓銀破綻
企業倒産件数戦後最悪
失業率最悪四・一％
東証株ハブル後最安値
最大九兆三千億円減税
地域振興券交付
男性失業率初五％台
一勸富士興銀統合発表
経済新生対策十八兆円
公示地価九年連続下落
大卒就職率最低九一・一％
九州沖縄サミット開催
倒産負債最悪二四兆円
日銀量的金融緩和決定
小泉内閣骨太方針発表
米テロ東証株一万円割
失業率悪化五・五％
日経平均九千五百円割れ
政府景気底入れ判断
輸出と生産の好循環に陰り
総合デフレ対策の発表
日経平均八千円割れ
イラク戦争SARS
暖冬、足利銀行国有化
日経平均一万円台回復
鳥インフルエンザ・九州新幹線開業
消費税法改正、年金改革法案成立
参院選民主党躍進、国の債務残高七百兆円突破
新潟中越地震、新紙幣発行
愛知万博開幕、福岡沖地震、地下鉄七隈線
個人情報保護法、ペイオフ全面解禁
衆議院選挙自民大勝
日経平均一万六千円台回復、構造計算偽造問題
日銀量的緩和と政策解除
改正道路交通法施行、新会社法施行
米国産牛肉輸入再開
安部内閣発足
対G7口最安値を更新
日銀による追加利上げ
参院選と野党逆転、安部首相辞任
福田内閣発足
中国製冷凍餃子中毒問題発生、白川日銀総裁誕生
4月カソリン税暫定税率廃止、原油価格1バレル140円突破
福田首相辞任、麻生内閣発足、米国リーマンブラザーズ破綻
来期予測

自社業況DI値の推移



	H13. 10~12	H14. 1~3	H14. 4~6	H14. 7~9	H14. 10~12	H15. 1~3	H15. 4~6	H15. 7~9	H15. 10~12	H16. 1~3	H16. 4~6	H16. 7~9	H16. 10~12	H17. 1~3	H17. 4~6	H17. 7~9	H17. 10~12	H18. 1~3	H18. 4~6	H18. 7~9	H18. 10~12	H19. 1~3	H19. 4~6	H19. 7~9	H19. 10~12	H20. 1~3	H20. 4~6	H20. 7~9	H20. 10~12
全産業	49.2	46.4	45.9	43.0	41.7	35.1	37.2	28.6	28.0	16.6	19.9	27.3	23.5	25.7	17.7	17.3	3.0	10.4	17.1	17.4	11.2	16.9	17.0	28.2	29.6	35.8	45.2	46.9	44.2
建設業	59.7	53.4	48.4	47.0	52.7	45.6	44.7	43.3	34.4	14.9	29.5	31.1	18.8	26.0	12.7	15.7	0.0	13.8	21.3	12.9	9.9	17.0	23.3	30.4	32.3	44.3	60.9	59.2	48.1
製造業	51.1	43.1	38.8	35.3	41.5	31.2	34.5	24.1	18.3	13.7	6.8	19.2	22.0	33.3	22.7	24.2	6.6	10.6	17.6	25.7	16.1	21.9	13.0	28.2	33.3	27.4	41.5	42.1	42.1
卸売業	44.3	51.2	50.2	41.2	25.9	29.1	37.4	29.4	27.6	13.9	21.4	23.2	18.7	26.1	13.4	15.9	10.7	19.2	18.9	18.3	6.9	17.9	24.4	30.7	25.4	36.4	48.3	35.1	45.3
小売業	38.3	38.2	31.5	38.8	35.1	29.8	31.3	28.5	29.4	27.4	23.1	33.2	47.9	36.7	27.6	18.2	3.2	7.2	18.5	20.0	30.5	36.4	21.0	43.9	35.2	50.7	44.9	61.1	47.8
運輸・倉庫業	50.0	59.6	61.8	63.2	47.4	47.5	47.2	28.1	53.1	17.1	44.2	39.3	46.2	14.8	40.0	24.1	3.6	16.0	14.3	5.9	16.7	5.7	3.2	26.7	53.3	61.3	62.1	60.0	60.0
サービス業	51.1	33.7	50.4	52.9	62.0	44.4	32.3	19.6	25.0	18.4	12.2	28.0	16.5	12.6	13.0	12.8	3.9	2.6	10.1	18.0	8.8	4.4	5.6	15.7	20.5	17.2	23.9	39.7	35.5